

1 市民意識等に関する評価指標について ※「市民意識等に関する評価指標」のみ抜粋

第2期西脇市子ども・子育て支援事業計画における進捗把握・検証のため、基本目標ごとに評価指標を設定（本計画 第4章68、69ページ）し、進捗管理を行う。

基本目標Ⅰ 妊娠・出産・子育てを切れ目なく支える環境づくり

指標名		単位	基準点・期間	基準値	方向	目標値	R2年度
相談相手・場所がないと回答する保護者の割合	就学前	%	H30.10	3	↓	2.4	<u>3.2</u>
	小学生	%	H30.10	5.6	↓	4.3	<u>6.8</u>

相談相手・場所がないと回答する保護者の割合は、就学前3.2%（平成30年3.0%）、小学生6.8%（平成30年5.6%）となっており、相談相手等がない割合がやや増加している。

基本目標Ⅱ 子どもの社会参加の促進（市民意識等に関する評価指標無し）

基本目標Ⅲ 地域社会における子ども・子育て支援の充実

指標名		単位	基準点・期間	基準値	方向	目標値	R2年度
西脇市こどもの笑顔をはぐくむ条例の認知度		%	—	—	↑	40	<u>31.4</u>
地域の子どもに関する治安の悪化を感じる市民の割合		%	H30.10	22	↓	19	<u>11.6</u>

西脇市こどもの笑顔をはぐくむ条例の認知度は、31.4%となっている。また、地域の子どもに関する治安の悪化を感じる市民の割合は、11.6%（平成30年22%）で、10.4%減少している。

基本目標Ⅳ 仕事と子育てを両立できる環境づくり

指標名		単位	基準点・期間	基準値	方向	目標値	R2年度
育児休業を取得したと回答する保護者の割合	母親	%	H30.10	36.9	↑	40	<u>39.0</u>
	父親	%	H30.10	2.2	↑	4	<u>3.4</u>

育児休業を取得したと回答する保護者の割合は、母親39.0%（平成30年36.9%）、父親3.4%（平成30年2.2%）となっており、父母ともに上昇している。

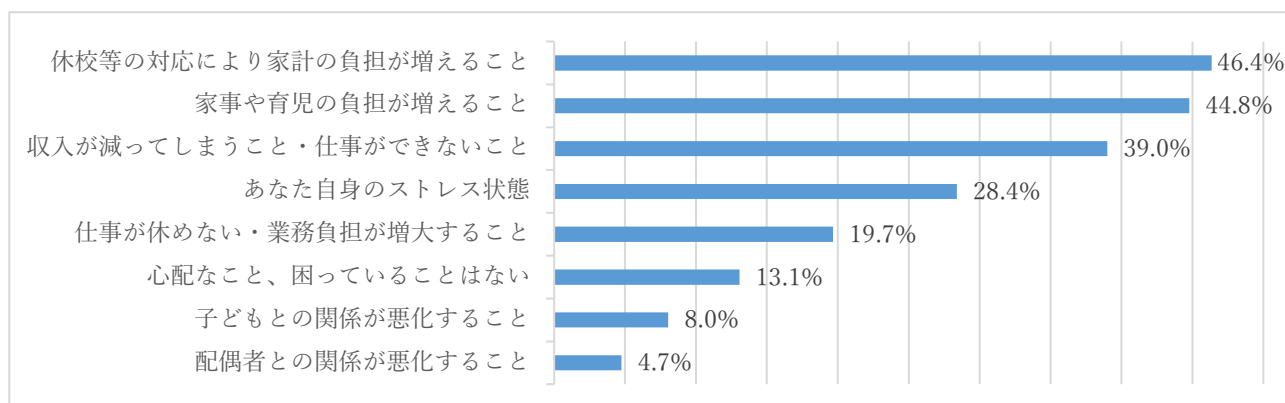
基本目標Ⅴ 子どもを守る仕組みづくり

指標名		単位	基準点・期間	基準値	方向	目標値	R2年度
ひとり親家庭の親の正規雇用の割合		%	H30.8	41.7	↑	45	<u>45.0</u>

ひとり親家庭の正規雇用の割合は、45%（平成30年41.7%）となっており3.3%上昇している。

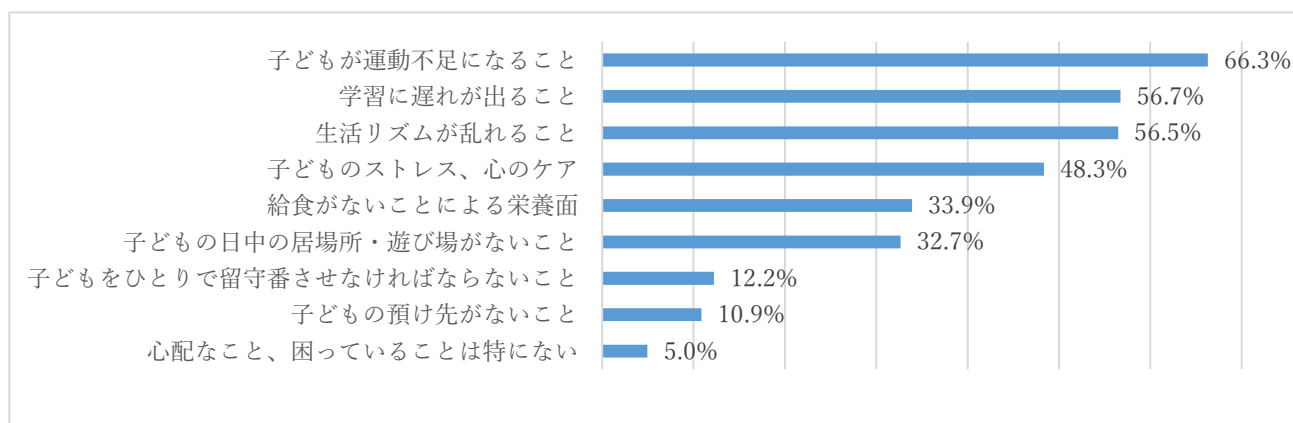
2 新型コロナウイルス感染症によるあなたやあなたの家族への影響について

- ① 新型コロナの影響で、親として生活面で心配なこと、困っていることは何ですか？（あてはまるもの全てに○）



「休校等の対応により家計の負担が増えること」の割合が46.4%と最も高く、次いで「家事や育児の負担が増えること」の割合が44.8%、「収入が減ってしまうこと・仕事ができないこと」の割合が39.0%となっている。

- ② 新型コロナの影響で、子どもの生活面で心配なこと、困っていることは何ですか？（あてはまるもの全てに○）



「子どもが運動不足になること」の割合が66.3%と最も高く、次いで「学習に遅れが出ること」の割合が56.7%、「生活リズムが乱れること」の割合が56.5%となっている。

【子ども・子育てに関するアンケートまとめ】

- ・新型コロナウイルスの影響による小学校等の臨時休業に伴い、子育て家庭には大きな負担がかかっていることが分かった。
- ・また、外出自粛や施設の利用制限が一斉に始まったことで、相談する相手・場所が減少したと考えられる。ビデオ通話機能を利用したオンライン相談など、相談者が自宅等に居ながら子育て相談が行える窓口を検討する必要がある。
- ・休学期間により普段の生活ができなくなる子どもの生活面では、運動不足や学習の遅れ等に対する不安が大きい。
- ・現在、子どもたちの学びを保障するため、1人1台のタブレット型パソコンを貸し出し、感染症等による学校の臨時休校などの緊急時には家庭での学習を支援する準備を進めているところである。新型コロナウイルス感染症の状況をみながら、with コロナ時代としての子ども・子育て支援を実施していく必要がある。